

岐阜米穀(株) メールマガジン

今回のテーマは 「穀物価格が過去最高値 戦火の中、印の小麦の輸出停止が影響」

国連食糧農業機関（FAO）が発表した5月の世界の食料価格指数で、穀物の価格が前月比2.2%上昇して173.4となり、1990年1月の統計公表以来の過去最高を更新しました。

前年同月比では29.7%上昇となります。ロシアのウクライナ侵攻による供給不安に加え、目立たないですが、インドの小麦の輸出停止などが影響したのです。

食料全体の価格は前月より0.6%下がって157.4。過去最高だった3月の159.3から2か月連続で低下したが、前年同月比では22.9%上昇。依然として過去最高水準で推移する。

主要穀物では、小麦が前月比で5.6%上昇した。ロシアやウクライナ、インドは小麦の主要な輸出国。前月を上回るのは4か月連続で、前年同月比では56.2%上回る。

一方、トウモロコシの価格は、米国の作柄が好調で、アルゼンチンが供給を開始、ブラジルもまもなく収穫を迎えることから、前月を3%下回った。ただ、前年同月比では12.9%上回る。

食肉の価格は、前月を0.5%、前年同月を13.6%上回り、過去最高を更新した。

植物油の価格は、前月より3.5%下がって229.3となった。インドネシアのパーム油の暫定的な輸出禁止措置が解除された影響。だが、前年同月比では31.1%上回る。

食料価格指数は、14～16年の国際食料価格の平均値を100として穀物、食肉、乳製品、植物油、砂糖の5項目の価格変動を指数化したもの。

7月に黒海の穀物輸送回廊が確保されると国際食糧価格が下落してきたこと、インドでは小麦に続いてコメの輸出規制を9月に実施との報道も・・・

6月NHKの「迫り来る“食料危機” 日本や世界の食はどうなる？」とビジネス特集があ

りました。特集では穀物の高騰が食料支援に影響、食料危機が国際政治の分裂の危険性などあるといます。

当たり前の「食」 そうではなかったと。裕福な国は穀物を買いつけることができますが、日本はいつまで・・・

国の観点からは「自給率の向上」や、「輸入先の多角化」といった食料安全保障を強化することがより重要になってくるでしょう。